令和８年第９回東近江市教育委員会（定例会）会議録

日　時　令和８年９月28日（月）　午後１時30分　開会

場　所　東近江市役所　東Ｄ会議室（東庁舎）

出席者

教育長	澤　英幸	教育長職務代理者	山本　一博
教育委員	神嵜　由紀美	教育委員	青地　弘子
教育委員	真山　達志	教育部長	福井　健次
こども未来部長	井口　みゆき	教育部次長	堀　喜博
管理監（図書館担当）	松野　勝治	管理監（幼児担当）	中村　淳子
教育総務課長	深見　勝	学校教育課長	中山　温子
校務支援室長	西野　和広	生涯学習課長	片山　晴紀
学校給食センター所長	鎌倉　厚徳	教育研究所長	田中　慶希
幼児課長	辻　温	幼児施設課長	奥村　伊佐男
学校教育課主幹	安本　剛	学校問題対策支援室指導主事	藤居　聖一
事務局(教育総務課長補佐)	小辰　あつ子		

以上21名

開会

教育長　皆様こんにちは。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

それでは、ただ今から令和８年第９回教育委員会定例会を始めさせていただきます。

最初に「会議録」の承認についてですが、委員の皆様には、「第８回定例会」の会議録について、あらかじめ事務局から配付し、御確認いただいていると思います。

会議録の内容に、御異議はございませんか。

各委員　（異議なし）

教育長　それでは、会議録について承認いただきましたので、山本委員と青地委員には後ほど署名をお願いいたします。

なお、今回の第９回定例会の会議録署名委員は、「青地委員」と「真山委員」を指名させていただきますのでよろしくお願いします。

それでは、次第に従い進めさせていただきます。

「１報告」です。はじめに、私から教育長報告をさせていただきます。

今年は昨年よりも２箇月ぐらい早くインフルエンザの流行が始まっており、市内においても既に２校２学級で閉鎖の措置をとっています。流行期に入っている国からの旅行者によってもたらされているとも言われていますが、これほど人流の活発な現代には、流行を抑えるということが不可能に近いといってもいい状況となっています。

さて、９月議会については、この後、各部長から報告がございますが、私が松本議員に再質問を受けた内容について少し述べさせていただきます。子供のインターネット利用についての質問でしたが、最後に再質問として、「現代の子供たちは、昔の子供とどのようなところ

教育長

が違いますか。」と聞かれました。大きな質問をいただきましたので、その時には、「生徒指導で言うと、昔は自分の思いをしっかりと表現する子供たちが多く、時には向かってくる子供もいましたので、体を張ることもありましが、今はスマートフォン等のインターネットの世界に引き込まれる子供も多く、その中で、友達関係の問題や見知らぬ人物による犯罪への誘引があります。」と答えました。簡単に言えば、昔の子供は分かりやすかったが、今の子供はインターネットの世界でのやり取りを大人の分からないところで進めるので、「分かりにくい子」が増えてきているように思います。そのような中で学校現場は生徒指導に非常に苦労をしている現実があります。ある日、突然保護者から、「子供がいじめられている」と訴えかけられ、学校が戸惑うことも多々あります。スマートフォンの世界で、表現力の乏しい子供たちのやり取りの中で起こっていることも多く、学校は何も知らない中で発生しているものです。そして、いじめる側といじめられる側の移り変わりも早く、被害、加害の認定も難しくなってきています。

このような状況に、スマートフォンの取扱いには保護者の責任でしっかりと管理することが大切と考えており、「インターネット上のトラブルから子どもたちを守るために」といった文書を出し、協力を求めることとしました。保護者に関しては、学校のパートナーとして共通の目標、「子供の健全な育成」に共に取り組んでいきたいと考えており、学校と保護者が共に課題解決に向けてできること、学校がすべきこと、そして、保護者が果たすべき役割と、今一度整理しながら的確な生徒指導となるよう進めていきたいと考えます。

長雨が続いておりますが、少しずつ秋の気配もしてきました。この間の土日には、市内で環境について考えるシンポジウムや、講演がありましたので紹介します。一つは「近江の滝シンポジウム」で鈴鹿の自然、歴史、文化について、滝をテーマに講演やパネルディスカッションがありました。本市の嶋田博物館振興課長の講演に始まり、「近江の滝」著者の水田氏、小椋市長、西村議長、山﨑東近江市エコツーリズム推進協議会会長などによるお話がありました。まず、鈴鹿の森に数多くの滝が存在し、そして、人々の信仰の場にもなっていたこと、そして最近は、滝に魅せられた人々による観光、保全など多岐にわたる内容で、非常に学びになりました。

また、昨日はクマタカ生態モノグラフ企画パネル展特別講演で「鈴鹿の森で明らかになったクマタカのくらし」として、３名の方の講演を聞きました。その中で、滋賀県立大学の辻美桜さんは、小学生の頃から、生き物に興味があり、生物の本を読みふけり、高校生の時にクマタカについての本に出会い、本講演を主催のクマタカ生態研究グループで行動を共にし、県立大学の環境科学部で更に研究を深めているということや、本市の森の文化推進課の和田のどかさんは、他県の出身ですが、いくつかの大学を経てクマタカに魅せられ、本市採用となっていただいています。高木に上り、クマタカの巣の調査もされるということですし、研究の内容も非常に具体的で興味深く聞かせていただきました。また、現京都市動物園の内藤アンネグレート素さんは、クマタカの遺伝子解析をされており、科学的見地からクマタカの生態を追っておられました。この講演会もコーディネーターは先ほどのエコツーリズム推進協議会会長の山﨑亨さんで、今回は「クマタカ生態研究グループ会長」としてお話をされていました。山﨑さんは大学生の頃から鈴鹿の森に通われ、40 年以上研究をし、クマタカについての著書の中には、「クマタカ生態モノグラフ」という研究成果を凝縮した本を出版されておられます。この二日間で、子供たちへの環境学習のフィールドとしての「鈴鹿の森」の貴重さを感じました。そこからの里、川、湖（うみ）のつながりや生態系の多様性の大切

教育長

さを学ぶ重要性を強く感じました。

話は変わりますが、昨年度、全国で教員不足が3,800人以上あったと報道されました。これは、４年間で２倍となる数字です。本市でも、急きょ休暇に入った教員の補充に４名の空きが出ています。今年は県のＷＬＢ（ワークライフバランス）加配があり、その教員が講師探しに一役買っているのと同時に、補充者が見つかるまでの支援にも入っています。市教委としても、大学へ出向き講師募集のチラシの掲示をお願いしています。各自治体では工夫をしながら人材確保を進めているところですが、根本的な解決には至っていないように思います。教育に携わる仕事は、非常に魅力的であり、感情労働ではありますが、感動労働でもあります。今後も、あらゆる機会に教職のすばらしさを伝え、東近江市の教育へ一人でも多く「携わってみよう」という気持ちになっていただけるよう努めてまいりたいと思います。

私からは以上です。それでは、教育部長からお願いします。

（教育部長報告）

教育部長

皆様、こんにちは。教育部長の福井です。

私からは１点御報告させていただきます。

９月議会一般質問が９月８、９、10日の三日間行われ、教育部へは７名の議員から質問がありました。

答弁の詳細は別紙のとおりですが、通学支援緊急対策、体育館空調の早期整備、学校規模適正化、校庭芝生化、先ほど教育長からも報告のありました子供のインターネットやスマートフォン利用に関する質問が寄せられました。

中村議員、山本議員、山中議員からは学校体育館空調について質問がありました。

皆様も御存じのとおり湖東中学校は既に設置されており、今年度整備しております五個荘中学校、朝桜中学校は８月 26 日に工事の開札が行われ、３月の卒業式までに設置完了を予定しております。

聖徳中学校、玉園中学校については、実施設計が完了し、工事費が算定できたことから、令和８年度から９年度の２年間で工事費及び監理費としてこの９月議会で２億9,860万円の債務負担行為の補正を要求しています。発電機を兼ねたガスヒートポンプ方式の室外機の納期が８箇月ほどかかるため、できるだけ早く入札を行い、猛暑期に間に合うよう整備を進めたいと思っています。

また、この議会で愛東中学校、永源寺中学校、船岡中学校についても基本設計等の作成業務委託に伴う設計監理委託料の補正を上程しております。先に整備する４校と設計業務自体はほぼ同じ仕様でできることから、令和９年度に設計施工で取り組んでいきたいと思います。

能登川中学校は、令和 10 年度に予定しております体育館の大規模改修工事と併せて空調設備の工事を予定しています。

小学校体育館については、国が整備完了目標を前倒しした令和 13 年度を目標に国の支援制度をしっかり活用し、取り組んでまいりたいと考えております、と答弁しました。

次に、山下議員からは校庭の芝生化について質問がありました。

現在、校庭が芝生化された学校は８校あり、うち１校が学校管理、３校がスポーツ少年団による管理となっており、残りの４校がボランティア団体による管理で、各学校５名程度、主に60代から80代の方々に委託をしています。議員御自身も八日市南小学校でボランティ

教育部長

アをされていることから持続可能な管理について質問をされました。

質問ではロボット芝刈機について触れられました。ロボット芝刈機は、御園小学校、八日市西小学校、能登川南小学校の３校に導入しており、その効果は芝刈り作業のほかに、機械で頻繁に芝を刈ることによって、その芝を回収する作業が不要となること、また、導入については、１校当たりロボット芝刈機２台で約 200 万円、その維持管理費用は定期メンテナンス、替え刃等の費用で１校２台当たり年間約 30 万円と見込んでいる、と答弁しております。

また、山下議員と山本議員から学校規模適正化の質問がありました。

学校規模の基準につきましては、国において望ましい小中学校の規模が示されており、小学校は 12 学級以上で 18 学級を超えない範囲、中学校は９学級以上で 18 学級を超えない範囲とされていること、望ましい基準に達していない学校は、東近江市内小学校 22 校中 14 校、中学校９校中４校であること、現在、庁内検討委員会を設け、少子化の現状や課題の抽出を行っており、学校規模の適正化に係る市としての基本的な方針を検討していることを答弁しました。また、少子化が顕著な地域における保護者や住民との合意形成の進め方と取組方針については、地域ごとに懇談会等を開催し、少子化の現状や学校が地域で果たす役割を再確認していただくとともに、地域の子供たちの教育や学校の在り方について考えていただきたいと思います。特に子育て世代の意見を尊重し、共に検討を進めてまいります、と答弁しております。

９月も終盤となりようやく暑さも和らいでまいりました。間もなく 10 月に入りますが、市内のほとんどの小学校で 10 月３日から 24 日の間に運動会が開催される予定となっています。これまで厳重な熱中症対策を講じてきており、屋外で十分な練習ができていない学校も多いと聞いておりますので、少し涼しくなったことで、終盤の練習にも一段と熱が入るものと思います。思い出に残る運動会になることを祈念して、教育部からの報告とさせていただきます。

教育部からは以上です。

教育長

ありがとうございました。続いてこども未来部長から報告をお願いします。

（こども未来部報告）

こども未来部長

皆様こんにちは。こども未来部長の井口です。

９月に入り、子供たちや職員は秋の運動会に向けて一生懸命取り組んでいるところです。そのような中、インフルエンザで登園自粛をする園も出てきていますので、感染症対策もしっかりと取り組んでいきたいと考えております。

次に、９月 18 日、建部幼稚園に入園を検討されている保護者向けに相談会を開催しました。これは、令和 11 年４月開園を目指して建部地区に民間の新たな認定こども園を整備するに当たり、保護者の不安などの声に寄り添い、安心して入園申し込みをしていただけるよう開催したもので、１件の相談がありました。幼児課及び建部幼稚園ではいつでも相談に対応できる体制にしております。

なお、新たな認定こども園の整備場所については、このあと常任委員会の報告で説明いたします。

最後に、９月議会一般質問について報告します。

こども未来部には、東近江市民クラブの鈴木議員及び澤居議員、万葉会の中村議員、以上

こども未来部長	３名の議員から御質問をいただきました。 鈴木議員からは、東近江市地域若者交流拠点「耕」について現時点での手応えや、この拠点を起点とした「若者と地域をつなぐ仕掛け」など今後の展開についての御質問をいただきました。手応えについては、１日当たり 20 人から 30 人の若者が訪れ、勉強したり友達とくつろいだりと思い思いに過ごしている姿を見て、「耕」は若者にとって居心地の良い場所としての第一歩を踏み出せているものと手応えを感じているところです、と答弁しました。また、「耕」を起点とした「若者と地域をつなぐ仕掛け」など今後の展開については、若者の主体性や若いエネルギーをいかし、市が主催するイベント等への積極的な参画を促していきたいと考えている、と答弁しました。 澤居議員及び中村議員からは、保育士等の確保や定着に向けて職場環境の改善等について質問をいただきました。保育士等の有給休暇取得日数については全国の状況と同様の取得日数であり、職員配置については園巡回などを通じて現場の状況を把握、検証をし、今後も適正な人員を確保し園運営を進めていくこと。また、現在、現場の保育士と関係課で課題解決に向けた調査研究に取り組んでおり、これらの結果を踏まえて順次改善に取り組んでいきたい、と答弁いたしました。 以上、こども未来部からの報告とさせていただきます。
教育長	各部長から報告がありましたが、御意見、御質問等はございませんか。
山本教育長職務代理者	教育部の議会答弁について、学校規模適正化を検討するに当たっては、学校の子供たちの教育環境を考えることは当然だと思います。しかし、加えて、学校が地域に果たす役割についても再確認することと答弁されています。また、庁内検討委員会のメンバーにも地域コミュニティ、まちづくりの観点から関連部署が加わっています。 実際に学校規模適正化を検討する際に、「地域」の比重が大きすぎると前に進むことが難しくなるのではないかと思うのです。果たして、現代においてそれほど地域コミュニティと学校が密接に結びついていると言えるのでしょうか。「地域」の部分をどう捉えているかによって進め方が違うと思うのです。能登川北小学校の事例を含めてどのようにお考えですか。
教育部長	昨年、能登川北小学校の児童数減少の対応について地元説明会へも行きましたし、まちづくり協議会の役員とも話をしましたが、「絶対残さないといけない」という意見の人はほとんどおられませんでした。恐らく、能登川北小学校のＰＴＡ役員が各自治会で話されたため、ほとんど反対がなかったのだと思います。 令和７年３月に学校が保護者に対して複式学級についての説明をされた際に、教育委員会の意見はどうかとの御意見をいただきましたので、４月に教育委員会の意見として、安定的に１学年２学級が維持できる能登川東小学校と統合することが良いと考える旨説明しました。その後、地元説明会やまちづくり協議会との話し合いも行いましたが、反対意見はほとんどありませんでした。
山本教育長職務代理者	学校と「まちづくり」とはあまり関係がないように思います。いつも学校規模適正化の話をする中で、学校と地域との関わりについて挙げられますが、子供たちの教育環境を良くし

山本教育長職務代理者	ていこうという話し合いにおいて、地域や「まちづくり」が足を引っ張ることがあってはいけないと思います。
教育部長	やはり、１学年 10 人以下になると男女比率の偏りが出てきますので、単級であっても 15 人から 20 人程度の人数で、複式学級は避けたいと考えています。
山本教育長職務代理者	こども未来部長報告の中で、東近江市地域若者交流拠点「耕」についての議会答弁がありました。以前説明していただいた際に「耕」はルールに沿って活用されており、コーディネーター２名が若者の相談を受けアドバイスをするということでしたが、コーディネーターからの聞き取りはされていますか。されているのでしたら、どのような感想を持たれているのでしょうか。
こども未来部長	毎月１回、研修会を行っています。コーディネーター全員が集まり、報告や意見交換、研修等を行っています。「耕」の中でコーディネーターは、積極的に話しかけず、見守ることに徹しています。 また、開設から２箇月が経ちましたので、ホワイトボードを置き、したいことがあれば付箋に書いてそこに張ってもらうようにしたところ、66 件の意見が出てきました。それを受けてこれからの取組について、コーディネーターたちと話をしています。
青地委員	私も地域若者交流拠点「耕」については気になっています。 若者たちは、本当は人とつながりたいのだと思います。生身の人とつながりたいができない。だから、このような場所ができたため、素直な気持ちで若者たちが集まったのではないかと理解しています。せっかく芽生えたところですので、何とか今後もつないでいきたいと思いますし、また、一つの良い拠点になるのではないかと期待しています。 今後、事業の継続を考えていますか。また、継続する場合の予算財源をお伺いします。
こども未来部長	来年度以降も事業を継続したいと考えています。継続する場合は、市単独事業となりますが、もし、国の補助金等があれば活用したいと思います。
教育長	続きまして、「２協議事項」に移ります。 「令和８年度教育委員会表彰について」担当課から説明をお願いします。
教育総務課長	教育総務課の深見です。よろしくお願いいたします。 私からは、令和８年度教育委員会表彰の被表彰者の推薦について、８月の教育委員会定例会以降、追加で推薦のありました個人及び団体について説明します。 お手元の資料１枚目「令和８年度教育委員会表彰 推薦者・団体一覧」を御覧ください。 ９月 11 日時点で個人 23 人、団体８件の推薦があり、追加推薦は、うちスポーツ賞の個人 16 人、団体１件です。 推薦調書を御覧ください。 表彰対象者及び推薦理由の詳細につきましては調書記載のとおりでございます。 また、資料として表彰規則と表彰基準を添付しております。

教育総務課長　説明については、以上でございます。
ただ今説明しました対象者につきまして、教育委員会表彰の被表彰者としてよいか、御協議をよろしくお願いします。

教育長　説明は終わりました。この件について御意見、御質問等ございませんか。

神嵜委員　教育委員会表彰はいつから始まったのですか。

教育総務課長　合併前の旧八日市市から続いています。

神嵜委員　児童生徒については、学校から推薦が挙がるのでしょうか。
市外の学校へ通う市内在住の方が、内閣府の作文コンクールで佳作を受賞され、国では表彰されましたが、東近江市ではされていませんでしたので、どのような基準で決められているのか疑問に思いました。市外の学校は対象外となるのでしょうか。

教育総務課長　対象者つきましては、添付資料「表彰規則」第２条(2)のとおり、「市内各学校の幼児、児童及び生徒」となります。
教育委員会から学校へ照会をかけ、学校から推薦していただきます。
もし、市外学校に通う市内在住の児童生徒を対象にすると、把握が難しくなります。逆に市内の学校へ市外から通っている児童生徒は対象となります。

教育長　「令和８年度教育委員会表彰について」は原案のとおり推薦のありました方々を認めていただけたものとして、事務を進めさせていただいてよろしいでしょうか。

各委員　（異議なし）

教育長　ありがとうございます。
続いて、「３その他」に移ります。「福祉教育こども常任委員会報告について」教育総務課から報告をお願いします。

教育総務課長　私から、市立能登川東小学校大規模改修工事の進捗状況について報告します。
令和８年８月末現在の進捗率は、建築工事 31.0 パーセント、電気設備工事 6.0 パーセント、機械設備工事 53.0 パーセントとなっております。
なお、２ページから４ページにかけて、各工事の工程表を添付しておりますので、あわせて御覧ください。
先月実施した工事内容につきましては、１ページに記載のとおり、建築工事として西側トイレ改修工事、内装解体工事と外壁調査、電気設備工事として西側トイレ改修工事と照明更新工事、機械設備工事として教室エアコン更新工事と西側トイレ改修工事を行いました。
今月は、外壁補修工事、校舎東側トイレ改修工事、職員トイレ改修工事を行う予定です。
５ページに工事写真を添付しておりますので、御確認ください。
報告は以上です。

教育長	この件について御意見、御質問等ございませんか。
各委員	（意見、質問等なし）
教育長	次に、幼児施設課から報告をお願いします。
幼児施設課長	幼児施設課の奥村です。よろしくお願いします。 建部地区における新たな認定こども園の設置場所について、説明いたします。 お手元の資料を御覧ください。建部地区における新たな認定こども園の設置場所につきましては、社会福祉法人睦美会から、地権者及び地元自治会の了承が得られたとの報告がありました。新たな事業用地は、市道上中緑町小今線（外環状線）沿いの建部南交差点付近にある農地４筆で、資料中央の赤枠部分となります。 睦美会では、５月と８月に建部南町の方々に対し説明会を開催されました。５月には場所も含め事業概要について説明され、地元からは施設の配置に係る周辺への配慮、道路の渋滞対策、隣接する用排水路の形状等の対応についての意見が出されました。これを受け８月には、出された意見を踏まえた計画図面により概要を説明され、全体を通じて意見はなく、了承が得られたとの報告がありました。 事業用地内の配置につきましては、園庭は、園児の遊ぶ声による近隣住民への影響に配慮し、民家から離れた交差点側に配置されます。園舎は、敷地の南西側に配置されます。駐車場は、東近江警察署との協議や交通量調査の結果を踏まえて外環状線側の里道寄りとし、車両の出入口は１箇所とされます。また、敷地内を横断する水路については、隣接する農地側に付替えをされる予定となっています。 これまで順調に進められており、今後、基本設計の策定後に必要な行政手続を経て、用地取得や開発整備が行われます。その後、令和９年度末から令和 10 年度にかけて建築工事に着手し、令和 11 年４月の開園を目指される計画となっています。説明は以上です。
教育長	この件について御意見、御質問等ございませんか。
山本教育長職務代理者	「園児の遊ぶ声」は、原則として配慮すべき事項となるのですか。
幼児施設課長	地元説明に入る際には、事前に配慮・調整をされています。
教育長	それでは、続いて、各課から報告をお願いします。
各課報告	●全国学力・学習状況調査の分析について≪小学校≫≪中学校≫（学校教育課） ●支援員及び講師募集について（学校教育課） ●インターネット上のトラブルから子どもたちを守るために（学校教育課） ●研究所だよりNo.285、286（教育研究所） ●報告事項（生涯学習課）

各課報告	●報告事項（図書館）
教育長	各課からの報告について、御意見等がございましたらお願いします。
山本教育長職務代理者	全国学力・学習状況調査の分析について、回答用紙は国へ送って一斉に採点されるのか、各学校で採点をされるのかどちらでしょうか。
学校教育課長	国が委託している業者へ送って採点されます。
山本教育長職務代理者	統一した基準で採点され、分析結果が国から送られるということですね。それをもとに今回の資料を作成されたのですね。 この中で、先生に対して授業の改善点を示していますが、すぐに改善されるものなのでしょうか。
教育長	課題や改善点を伝えていますので、それを意識して授業を行うことで変わるところはあると思います。
青地委員	教育研究所の社会科郷土学習資料集について、一言よろしいですか。 私は、市の総合計画を策定するための委員になっています。懇話会の中で「20 年後の東近江市をどうするか」など議論をしていましたら、「学校は子供たちに東近江市の良さを伝えているのか」という話が出ました。ちょうどこの前の懇話会のときに、この資料の改訂版が出たばかりだったので読んでいただくよう紹介しました。このように「社会科」の教科書としてとしてだけではなく、大人も読んでもらえるようにと考えると、名称を見直していくという方向性は非常に良いと思います。
教育長	以上で、全ての議案が終了しました。全体を通して、御意見、御質問はございませんか。
各委員	（意見、質問等なし）
教育長	それでは、次回、第 10 回定例会は、令和８年 10 月 26 日（月）午後１時 30 分から、「市役所 東庁舎 東D会議室」で開催いたしますので、よろしくお願いします。 以上をもちまして、令和８年第９回教育委員会定例会を終了させていただきます。 お疲れ様でした。ありがとうございました。

会議終了　　午後２時50分

会議録署名委員

会議録署名委員

教　育　長